

2020年6月15日

第12次中期経営計画の修正について

2019年5月10日に公表致しました2019年度を初年度とする3ヶ年の第12次中期経営計画（2019年4月～2022年3月）において、第10次中期経営計画及び第11次中期経営計画の成果及び課題を踏まえ、次の段階として、信頼と企業ブランドの確立を目指し、選ばれる会社となることへ挑戦し、そのために必要な施策を推進すること、そして計数目標につきましては、営業利益23億円を目指すこととしております。

2019年度より、この基本方針の下、取組み施策を推進して参りましたが、今般の新型コロナウイルスによる経営環境の変化やそれが事業業績及び財務に与える影響等を検証した結果、事業に係る体制及び基盤を再構築する必要があると判断し、今回、第12次中期経営計画を修正することと致しました。

修正内容は、以下のとおりです。

1. 第12次中期経営計画の骨子における計数目標

【現行】：営業利益23億円を目指す。

【修正後】：営業利益10億円の安定確保体制を再構築し、最終年度の営業利益10億円以上を確保。

2. 第12次中期経営計画の資本政策

【現行】

●第12次中期経営計画の目標達成に向けて、体制整備・生産性向上・人財育成などの各施策を推進するために必要な投資を、積極的に行っていく。

●第12次中計期間においては、上記の成長投資を踏まえた適切な株主還元を行う。

【修正後】

◎第12次中期経営計画の目標達成に向けて、体制整備・生産性向上・人財育成などの各施策を推進するために必要な投資を、積極的に行っていく。

◎第12次中計の残りの期間においては、上記の成長投資及び新型コロナウイルス環境下での一定流動性確保を踏まえ、適切な株主還元を行う。

3. 新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスへの対応について、新たに追加しております。

なお、第12次中期経営計画の施策項目について、変更はございません。

以上



株式会社 サンテック

総合設備工事のリーディングカンパニー

第12次中期経営計画の修正について

(2019年4月～2022年3月)

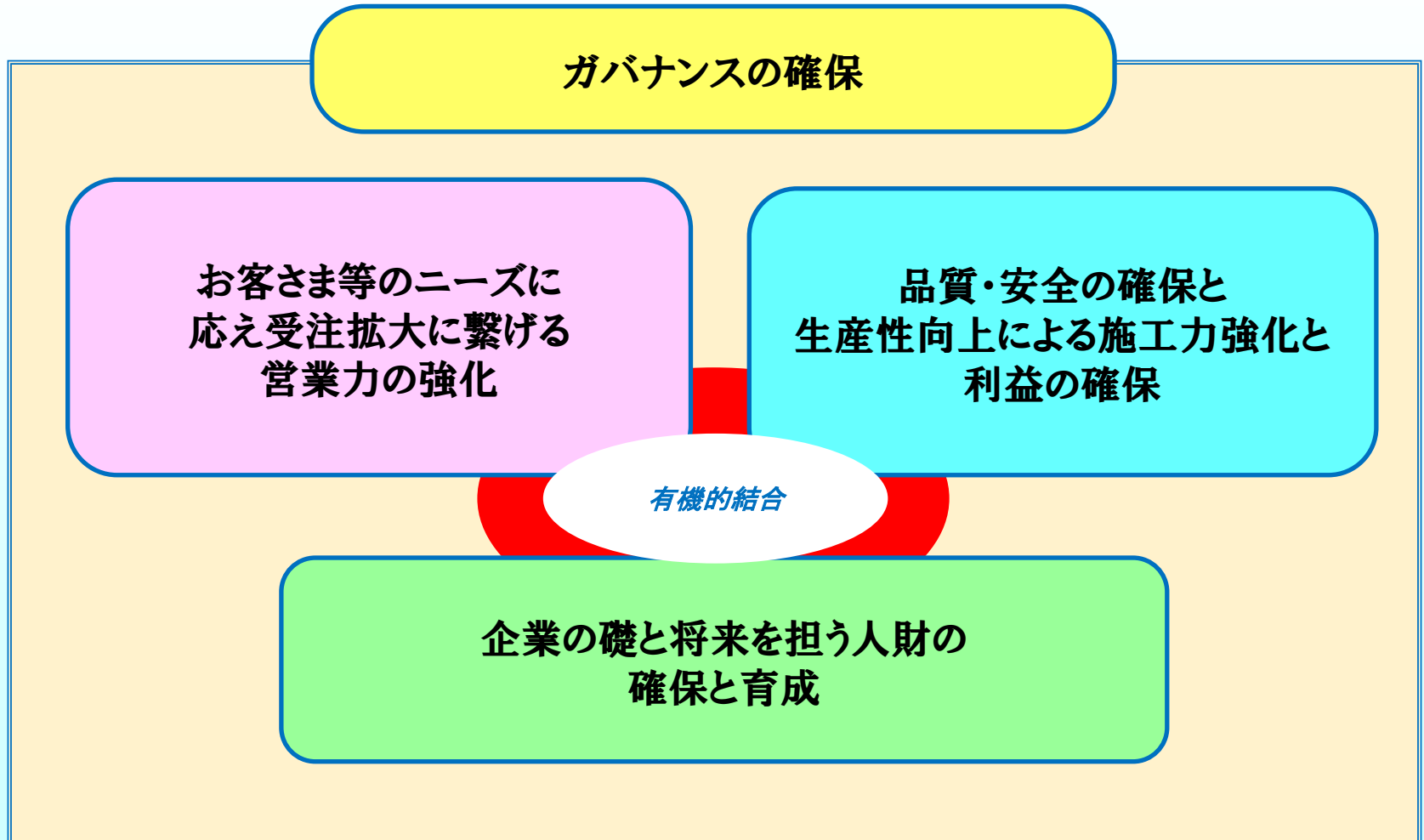
2020年6月15日

株式会社サンテック (東証2部 1960)

～信頼と企業ブランドの確立 (Next Stage)を目指し、 選ばれる会社への挑戦～

【計数目標】

営業利益10億円の安定確保体制を再構築し、
最終年度の営業利益10億円以上を確保



【新型コロナウイルスへの対応】

- ◎新型コロナウイルス感染の収束時期が見通せない中、社員やその家族、協力会社の社員等の健康・安全を十分確保する対策を取りつつ、雇用を確保し、事業を継続推進していく。
- ◎新型コロナウイルス感染予防に係るお客さまのニーズを把握し、的確な技術提案、施工を行うことを通して、社会的貢献を目指す。

【資本政策の基本的方針】

- 第12次中期経営計画の目標達成に向けて、体制整備・生産性向上・人財育成などの各施策を推進するために必要な投資を、積極的に実施していく。
- 第12次中計の残り期間においては、上記の成長投資及び新型コロナウイルス環境下での一定流動性確保を踏まえ、適切な株主還元を行う。

お客さま等のニーズに応え受注拡大に繋げる営業力の強化

施策項目	取り組み内容
顧客ニーズに適応できる全社的な営業力強化	概算見積り、設計協力に係る体制の拡充を図り、受注力を強化する。
	発送電分離を見据えて、電力会社毎の対応方針・施策に則った業務運営を行う。
価格競争力の向上に向けた取組み	国内・海外における調達機能の再構築(集約化)を行い、調達力の強化を図る。
営業に係る範囲、接点の拡大等を通じた情報収集の強化	営業エリア及び顧客接点拡大と情報収集力の強化により、効果的な営業活動を実践する。

品質・安全の確保と生産性向上による施工力強化と利益の確保

項目	具体的内容
施工に係る品質と安全の確保	施工に係る品質及び安全に係る体制の拡充と教育の徹底、及び現場チェックの強化等を行い、品質・安全の確保、向上を図る。
協力業者の開拓と協力業者との協働体制強化	営業部門のネットワークも活用した協力業者の開拓、協力業者への人材育成支援等により協力業者との協働体制の強化を図る。
空調管工事に係る施工力の強化	武蔵野工業との連携推進、国内・海外の空調管工事に係る体制強化により、空調管工事分野について、量・質両面での強化を図る。
収益性・生産性向上に向けた業務改善	現場代人業務における共通業務の集約化、ITソフト・IOTの活用、文書フォーマットの統一化等により、現場代人業務の業務改善を図り、効率性及び生産性を向上させる。
	現場等で発生した問題への迅速かつ的確な対応により、リスク管理の向上に繋げる。
	次期基幹システムを計画どおり稼働させ、経営管理の拡充と業務の効率化を図る。

企業の礎と将来を担う人財の確保と育成

項目	具体的内容
人材採用及び育成に係る体制・方法等の再構築とそのための要員補強	採用強化に向け、人材採用(新卒、中途)の対象範囲、採用に係る体制・手法等の再構築を図る。
	若手社員の早期戦力化、プラント工事に係る代人育成、現場代人の技能確認制度、管理者研修カリキュラム見直しなどにより、人財育成の強化を図る。
	海外要員(日本人、ローカルスタッフ)育成に係る仕組みを構築する。
職場改善、社員モチベーション向上	職場環境の改善、長時間労働の是正を推進するとともに、若手社員の離職防止を図る。
	海外要員の拡充と人財の多能化を図る。
	職場改善に加え、社員モチベーション向上に係る取り組みを推進する。
	有能な高齢者の確保及び活用に向けた環境の整備を行う。

ガバナンスの確保

項目	具体的内容
コンプライアンスの遵守	各種関連法令に対する知識・意識の向上に係る教育の継続的实施とコンプライアンスの遵守の徹底を図る。
工事リスク管理強化	工事リスク管理マニュアル等の定着化により、工事リスクの的確な把握とリスク管理の強化を図る。
資本コストを意識した資産効率向上への取組み	保有不動産、政策投資株式に係る方針を明確化し、資産効率向上を図る。
将来的な資本政策への対応の検討	個人安定株主や外国人投資家に向けたIRの検討